

WELL通信



ウエルの今を深掘り!

お一人おひとりの人生に 多職種連携でよりそう

厨房だより

陽光苑

「一年中おいしいお食事」 を目指して

陽光苑では、食べ慣れた家庭の味を再現した、やさしい味わいのお食事づくりを心がけています。主菜を2種類から選べる「選択メニュー」も定期的に提供していますが、通常、施設ではご自身でメニューをお選びいただくことが難しいため、いつもお召し上がりいただけるお食事づくりに全力をあげて取り組んでいます。



食欲が落ちてしまう夏でも、栄養をしっかり摂って元気にお過ごしいただけるように、口当たりの良い麺や、ナスやきゅうりの和え物など、あっさりとした味付けのお食事をご提供しています。



利用者様と一緒に、栄養たっぷりのバナナと牛乳でひんやりおいしい「バナナミルクアイス」を作りました。



日々のお食事は、ウエル清光会のブログでも紹介しています。ぜひご覧ください。

事業所 PICK UP

ご自宅での生活を24時間365日支えます

| 利倉清豊苑 定期巡回サービス



定期巡回に含まれる4つの基本サービス

- 1 定期巡回**
1日1回から複数回、定期的にヘルパーが訪問し、生活援助や身体介護などを行います。
- 2 随時対応**
24時間365日、利用者様からの通報に対応。必要に応じて訪問します。
- 3 随時訪問**
転倒や排泄でのトラブルなど、急な事態にもヘルパーが訪問して対応します。
- 4 訪問看護**
必要に応じて看護職員が訪問し、病状観察や服薬管理などを行います。

定期巡回Q&A

Q 月に何度まで利用できますか? また回数に応じて料金は変わりますか?

A 回数制限はありません。単位数を気にせず、一日に必要な回数、ひと月に何日でもご利用いただけます。また、定額制となるため、利用回数による料金の変更もありません。

Q 緊急時だけ対応してもらえますか?

A はい。「普段の家のことは自分でできるけれど、緊急時には来てほしい」というご要望にもお応えします。

【ご利用事例】夜中の1時に通報があり、職員が駆けつけたところ、利用者様が転倒されていました。体の状態を確認し無事が確認できたため、トイレを済ませた後にベッドにお連れしました。

Q 生活支援だけの利用も可能ですか?

A はい、可能です。お料理やお掃除、お洗濯などのほか、服薬のサポートだけでも訪問いたします。

Q 遠方に住む両親の安否確認をしてくれますか?

A はい、お受けいたします。服薬やお食事がきちんとできているか、エアコンの温度が適切かなど、訪問して確認いたします。訪問後は利用者様のご様子や対応状況を記録してWeb上でご家族と共有。スマホ等からご確認いただけます。



最期まで家で過ごしたい。その気持ちを尊重します



計画作成責任者・介護福祉士
尾崎孝介

「住み慣れた家で最期まで過ごしたい」という方の気持ちを最大限に尊重し、その方らしい人生をサポートいたします。生活面でも医療面でも、従来の訪問介護より柔軟に対応できますので、お困りの際はぜひご相談ください。

利倉清豊苑 定期巡回サービス

対象: 豊中市にお住まいの方で、要介護度1~5の方
お問い合わせ先: 06-6210-6585 (担当: 尾崎)

ウエルグループ

豊中市

- 清豊苑 [特]
- 利倉清豊苑 [地/デ/グ/小/定]
- 美豊苑 [特/ケ]
- 刀根山美豊苑 [地/デ]
- 輝豊苑 [デ/グ]
- ウエルケアプランセンター

- ウエリスト [小/デ]
- 社会福祉法人香聖会 豊中 [地/グ/小]
- 庵とよなか庄本 [有]

宝塚市

- 宝塚清光苑 [特/デ/グ/小/ケ/定]
- 芦屋市
- 陽光苑 [地/デ/グ]
- 西宮市
- パセム西宮 [有]
- ケアプランセンター西宮清光苑



[特]特別養護老人ホーム [地]地域密着型特別養護老人ホーム [デ]デイサービス [グ]グループホーム [小]小規模多機能型居宅介護施設 [ケ]ケアプランセンター [有]有料老人ホーム [定]定期巡回サービス

お一人おひとりの人生に多職種連携でよりそう

ウエル清光会の特別養護老人ホームの施設長、副施設長、看護師、機能訓練指導員が集まってそれぞれの想いを語り合いました。



私たちがお話ししました

- 〈美豊苑 施設長〉 内海敦之
- 〈宙豊中 施設長〉 加藤大輔
- 〈陽光苑 施設長〉 大井 憲
- 〈宝塚清光苑 副施設長〉 中丸龍次
- 〈看護統括責任者〉 渡部昌子
- 〈機能訓練指導員〉 木村彩子

―アセスメントの徹底

Q 特養の運営で心掛けていることは？

内海…利用者様が望む人生を過ごしていただくことです。以前、いつも笑顔だった利用者様が旅立たれ、「ご家族も職員も「最後まで笑顔でよかった」と言い合っていたら、後日その方のタンスから「長生きしてごめんなさい。迷惑をかけました」と書かれた置き手紙が出てきたことがあり、その方の本当の気持ちに気づけていなかったことを悔やみました。それ以降、お一人おひとりに対して多職種による徹底したアセスメントを行うようにしています。

渡部…看護では、健康管理のレベルや医療



機関につなげるラインなどを判断しています。介護や医療、機能訓練、食事など多方面から多職種がアセスメントを行うので、意見がずれることもあり、しかもそれぞれの主張が正しいので着地点を見つけるのは非常に難しいところです。その方やご家族がどういう想いで私たちの施設に相談に来られているかをふまえた上で、喧嘩するほど熱く話し合っています。

木村…機能訓練では、身体機能のチェックのほか、趣味や希望の過ごし方も含めてアセスメントを行い、計画を立てます。体が思うように動かず悲観的になってしまいう方も多いのですが、身体機能が低下しても「できない」と諦めず、「こんなことがしたい」という希望を持って過ごしていただけるように、できることはご自分で行っていたらいいと思います。

内海…中には、機能訓練で身体機能が回復される方もいますね。

木村…はい。車椅子を使わず室内で歩けるようになり、退所されてデイサービスを利用されるようになった方もいらっしゃいます。

す。退所前にはケアマネと一緒にご自宅の環境を下見して必要な設備について相談したり、食事面では看護師にも判断を仰いだりして職員全員で連携して実現できました。

―最期までその方らしく

渡部…お看取りの時期が近づくと、介護士や看護師、ケアマネ、理学療法士からの情報も交えて意見をまとめ、その上でご家族の意向をお聞きし、最後に医師が身体状態を判断するという形で、時間をかけて意思決定支援を進めています。ただ、一度方針を決めた後でもご家族の気持ちは揺れるもの。その気持ちにケアマネも施設長もこ

とん付き合い、「ご家族が納得されることを何より大事にする姿勢には頭が下がります。内海…ご家族には「昨日と言っていていることが違っても構いません」というスタンスで向き合っています。後悔は絶対にしてほしくありませんから。

中丸…最期をどう迎えたいか、という点は大事ですね。医療と介護での判断の違いはありますが、例えば何を食べたいとか、どこに行きたいかというご本人やご家族のご要望にはできる限り応えたいと思います。

大井…陽光苑では、茶道の先生をされていた利用者様がいらっやっやっ、お看取りの時期が近づいた時、お茶の先生をお呼びし

て向き合ってた座っていただき、点でもらった抹茶と一緒に飲むという体験をしていただきました。その際の利用者様の表情が柔らかく、刺激に対してしっかりと反応している姿を見て、最期まで人間が持つべき感情というものを目の当たりにしました。これこそが、利用者様が今ここに生きていらっしゃる証なのだ痛切に感じました。

加藤…宙豊中では、どうしても家で最期を看取りたいというご家族の想いから、退所された方がいます。最初はやめたほうが良いという話も出たのですが、一年ほど話し合いを重ね、往診の医師とも連携し、「ご自宅も改装いただきました。現在は、以前よりお元気になられてショートステイを利用しながらご自宅で過ごされています。最期を自宅で迎えるというのは理想ですね。

中丸…ウエルグループ内にデイサービスやショートステイ、小規模多機能もあれば、医師や看護師との連携もできているので、どの介護度であっても

トータルで利用者様を支えられるのが良いですね。担当者の情報共有も密に行えますし、退所された後には定期巡回サービスを利用して最期までご自宅で過ごしていただくという選択肢も



―一人ひとりによりそう

Q どのような特養でありたいですか？

渡部…やはり、お一人おひとりの人生によりそえる施設でありたいです。この「一人」の中にはご家族も含まれます。ご家族が介護の大変さに押しつぶされないように支える。特養には、そういう社会的使命もあると感じています。

大井…多職種で連携するからこそ、お一人おひとりの暮らしが楽しくなるように、多様な提案もできます。私たちが休日を楽しむよう

お食事へのこだわり

ミールラウンドで利用者様の日々の状態を確認し、栄養士と他職種とのカンファレンスでその方に合ったお食事を検討しています。また直営厨房では、お一人おひとりに応じた食形態に対応し、味を感じにくくなっている方にも美味しく前向きな気持ちで召し上がっていただける食事づくりを大切にしています。

〈清豊苑 厨房〉景村千歳